

市川市議会議員

石原よしのり通信



11月26日に市川市長選挙

市川市長選挙の日程が、今年11月26日（日）に決まりました。

あと3か月に迫った今、市川市の将来について考えてみませんか？

「誰が市長になっても変わらないので関心ないよ」と思っていますか？

普段 市との関わりがなくても、子どもを保育園に預けたい時、子どもが学校に通う時、病気やケガで仕事を辞めた時、障害を抱えた時、介護が必要になった時、震災が起こった時など、住んでいる市がしっかりしていないと苦勞するのは私たち市民です。

経済政策、外交・安全保障、税制など国の骨格と方向性は国が決めています、私たちが日々安心して幸せに暮らすことができるかどうかは、各市が決める福祉制度や都市計画安全対策によるところが大きいのです。

これまで都心に近く便利でありながら自然と歴史文化が残る住宅都市として発展してきた市川市ですが、少子高齢社会を迎えこれからどうなっていくのでしょうか？

安心して安全で便利に暮らせる魅力的なまちとなるか、一部の人の思惑が優先され利権集団だけが潤うのか、市長選挙の結果が市の将来を左右します。なぜなら市長の権限は、市の方針を決め、2400億円規模の予算を作り、5000人の職員を動かして、48万市民の生活を支えるあらゆる事業活動を実行できる力を持っているからです。

選挙では、子育て支援、教育の充実と負担軽減、医療と介護、防災対策、環境問題など皆さんが最も気になるテーマで候補者の政策を比べるといいでしょう。そして「市民の声に耳を傾ける」「大事なことは市民とともに決める」という開かれた行政運営を行うかどうかもポイントです。その候補者が本当に市川市民の幸せのために働こうとしているのか見極めていただきたいと思います。

これから4年間市長を誰に託すか、市川市の将来が皆さんの一票にかかっています。

「石原よしのりと市政を語る会」

日時：9月2日（土）16:00～18:00

場所：アイリンク会議室

（JR市川駅南口 タワーズイースト3階、行政サービスセンター内）

議員と身近に話せます。お気軽にお出かけください。（入場無料です）

三浦一成議員の事件

6月26日、三浦一成議員が児童買春の容疑で逮捕され、マスコミで大きく報道されました。容疑が容疑だけに市民からの批判は大きく市議会の信頼を損なう事件でした。

その後、三浦議員は釈放され裁判を待つ身となっていますが、周囲からの辞職を促す声に対して「辞職はしない、裁判で無罪を争う」との考えを表明しています。そこで、市議会として三浦議員の処分を審議し決定するための臨時議会が7月25日に開催されました。

① 議員報酬差し止め条例が可決

今回の議員報酬再差し止め条例は、「議員が逮捕され、市民の信頼を損ねた」ことを議会が認定したら議員報酬の支給を差し止めるというものです。もっとも実際は本人に渡さず別に積み立てておき、任期満了などで辞める時にまとめて渡すということです。この条例案は、三浦議員に対する市民の批判の声に応えなかった市長が、拙速に制定を図ろうとした面があります。

議員の身分は、戦前の反省から言論の自由を確保し権力の弾圧から守るため憲法や法律で守られています。今回の条例案は、政府の方針に反対する活動が疑われて逮捕されるようなケースでも適用されかねず、多くの法律家から問題が指摘されていました。もっと十分な検討や調整が必要だとして、私を含め7名がこの条例案に反対しました。報酬差し止めではなく、辞職させる方向に動くべきだったのではないのでしょうか。

② 三浦一成議員の議員辞職勧告を決議

三浦議員は、犯した罪と市民の声を考えれば速やかに自ら辞職すべきだと思います。しかし三浦議員は辞職しないばかりか、逮捕以来、議会や委員会などに全く出席せず、議会からの説明要請にすら応じていません。今後も体調不良などの理由で姿を隠し続けるかもしれません（豊田真由子さまと同じです）。

そこで市議会は「自らの説明責任を果たさず議員としての資質に欠ける」として議員辞職勧告決議案を可決しました。しかし残念ながら法的拘束力はありません。辞職に追い込むには、市民が三浦議員に責任を問うプレッシャーをかけ続けることが必要ではないのでしょうか。

石原よしのリプロフィール

- 1983年 東京大学卒業（農学部 森林・林業政策専攻）
- 1983年 王子製紙入社。以後27年間、工場現場をはじめ事業管理、経営企画、海外事業を担当
- 1990年 米国 WAKE FOREST 大学大学院卒業（経営学修士 MBA）

連絡先



〒272-0826 市川市真間 4-11-C202

TEL : 047-710-0958

FAX : 047-710-0959

メールアドレス : yoshinori.ishihara@gmail.com

ホームページアドレス : <http://ishihara-yoshinori.jp>

